

# 日本農芸化学会中四国支部第15回講演会

## 【日時】

平成 18 年 5 月 13 日 (土) 13 : 10 ~ 17 : 48  
(時間を変更しました . ご注意ください . )

## 【会場】

くにびきメッセ (松江市学園南 1-2-1 , Tel 0852-24-1111 , <http://www.kunibikimesse.jp>)  
501, 601 大会議室

## 【発表の方法・形式】

講演題数が増えたため , 発表 10 分 , 質疑 2 分に短縮しました . 発表はパワーポイント (ウィンドウズ版) で行います . 5 月 8 日 (月) までにパワーポイントファイル (ウィンドウズ版) をメールでお送りください . 講演会当日は念のためバックアップファイルをお持ちください .

ファイル送付先 : 尾添嘉久 (E-mail : [ozoe-y@life.shimane-u.ac.jp](mailto:ozoe-y@life.shimane-u.ac.jp))

## 【懇親会】 { 会費 4,000 円 ( 学生・院生 3,000 円 ) }

くにびきメッセ レストラン・ポモドーロ ( 18:00-20:00 )

4 月 28 日までに E-メール ( [ozoe-y@life.shimane-u.ac.jp](mailto:ozoe-y@life.shimane-u.ac.jp) ) で , 件名を「懇談会参加」として申し込み下さい . 役員・評議員の方の懇親会参加申込は , 役員会と評議員会出席の支部への連絡のメールに記載して下さい .

## 【役員会・評議員会】

役員会 ( 403 会議室 ) 11 : 00 ~ 12 : 00

評議員会 ( 601 大会議室 ) 12 : 00 ~ 13 : 00

## 【くにびきメッセへのアクセス】

JR 松江駅北口よりくにびき大橋を渡り , 徒歩で 7 分 , バスで 3 分 (「松江駅・メッセ方面」行き「くにびきメッセ前」下車) . 山陰道「松江中央ランプ」より車で 10 分 . 駐車場 400 台 収 容 . ア ク セ ス の 詳 細 は , [くにびきメッセホームページ <http://www.kunibikimesse.jp/frame04.html>](http://www.kunibikimesse.jp/frame04.html) を参照して下さい .

問合せ先 : 尾添嘉久

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学生物資源科学部

Tel : 0852-32-6573

E-mail : [ozoe-y@life.shimane-u.ac.jp](mailto:ozoe-y@life.shimane-u.ac.jp)

## プログラム

### 受賞講演・特別講演（501 大会議室）

2006 年度農芸化学奨励賞受賞講演(13:10-13:40)

「Ca<sup>2+</sup>信号伝達経路による細胞周期制御の発見及びその分子機構に関する研究」

水沼正樹（広島大学大学院・先端物質科学研究科）

座長 宮川都吉（広島大院・先端研）

特別講演（13:40-14:15）

「キチナーゼの農業への応用」

古賀大三（山口大学・農学部）

座長 内海俊彦（山口大・農）

特別講演（14:15-14:50）

「未利用生物資源の新機能開発を目指した微生物工学的研究とその応用」

松田英幸（島根大学名誉教授）

座長 川向誠（島根大・生資）

### 一般講演（15:00-17:48）

（A会場：501 大会議室，B会場：601 大会議室）

・次ページにプログラム・

## 一般講演プログラム（発表10分，質疑2分）

< A 会場：501 大会議室 >

座長 麻生祐司（島根大・教育）

15:00~

A 1 . Biodiversity of lactic acid bacteria in Kenyan traditional fermented milk products

Henry Joseph Oduor Ogola, Mizue Ishikawa, Hitoshi Shibata, Yoshihiro Sawa  
(Dept. Life Sci. Biotech., Shimane Univ.)

15:12~

A 2 . 汎用有機溶媒の分解微生物の取得と解析

大久保俊克，加藤純一  
( 広島大・先端物質・分子生命 )

15:24~

A 3 . 出芽酵母における染色体外遺伝因子の分配機構に関する研究

岡田貴文，堀籠智洋，宮本千代，水田啓子  
( 広島大院・生物圏 )

座長 芦田裕之（島根大・総科センター遺伝子）

15:36~

A 4 . 高度好塩古細菌 *Haloarcula japonica* の 16S rDNA の多型性

仲宗根薫  
( 近畿大工・生化工 )

15:48~

A 5 . 高度好塩古細菌 *Haloarcula japonica* のリボソーム蛋白遺伝子群の構造解析

前田豊，仲宗根薫  
( 近畿大工・生化工 )

16:00~

A 6 . 高度好塩古細菌 *Haloarcula japonica* の RNA ポリメラーゼ遺伝子群の構造解析

松味弘也，仲宗根薫  
( 近畿大工・生化工 )

座長 澤嘉弘 (島根大・生資・生命工)

16:12~

A 7 . 高度好熱菌 *Thermus thermophilus* のビオチン生合成経路の推定

窪田高秋, 下野惇平, 和泉好計

(鳥取大工・生応工)

16:24~

A 8 . 海洋性細菌 *Vibrio* sp. 02 アルギン酸リアーゼ遺伝子のクローニングと解析

川本仁志<sup>1,2</sup>, 堀部晃央<sup>2</sup>, 三木康成<sup>1</sup>, 木村隆之<sup>1</sup>, 田中克典<sup>2</sup>, 中川強<sup>3</sup>, 川向誠<sup>2</sup>, 松田英幸<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>(株)海産物のきむらや, <sup>2</sup>島根大生資生命工, <sup>3</sup>島根大総合科学研究支援センター)

16:36~

A 9 . *Pseudomonas stutzeri* 由来 L-ラムノースイソメラーゼの X 線結晶解析

吉田裕美<sup>1</sup>, 山田貢<sup>2</sup>, 大山祐矢<sup>3</sup>, 高田悟郎<sup>3</sup>, 何森健<sup>3</sup>, 神鳥成弘<sup>1,2</sup>

(<sup>1</sup>香川大学総合情報基盤センター, <sup>2</sup>香川大学医学系研究科, <sup>3</sup>香川大学希少糖研究センター)

座長 横田一成 (島根大・生資・生命工)

16:48~

A 10. *Bacillus thuringiensis* に由来する細胞損傷蛋白質 MM29kD の活性決定領域

中野加奈子, 松村祐介, 小塚昌弘, 中山裕司, 武部聡<sup>1</sup>, 千菊夫<sup>2</sup>, 早川徹, 酒井裕

(岡山大院・自然科学, <sup>1</sup>近畿大・生物理工, <sup>2</sup>信州大・農)

17:00~

A 11 . 細胞損傷タンパク質 MM29kD の変異体ライブラリーの作製と解析

平尾彬奈, 木村まゆみ, 木庭唯, 山際雅詩, 武部聡<sup>1</sup>, 千菊夫<sup>2</sup>, 早川徹, 酒井裕

(岡山大院・自然科学, <sup>1</sup>近畿大・生物理工, <sup>2</sup>信州大・農)

17:12~

A 12 . 精子形成期ラット精巣で特異的に発現する遺伝子の解析

山野好章<sup>1</sup>, 大山建司<sup>2</sup>, 太田正法<sup>2</sup>, 矢田貝亮一<sup>3</sup>, 山根真由<sup>3</sup>, 森嶋伊佐夫<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>鳥取大・農・獣医, <sup>2</sup>山梨大院・医学工学, <sup>3</sup>鳥取大・農・応生)

17:24~

A 13. Origin and evolution of the *YGHL1/HIG1* gene family in vertebrates

阿部俊之助, 佐々木栄二

(愛媛大農)

17:36~

A 14. Origin and evolution of a novel gene product by intergenic splicing between *Ubie2* and *Hig1-4* in mouse

佐々木栄二, 阿部俊之助

(愛媛大農)

< B 会場 : 601 大会議室 >

座長 中川強 ( 島根大・総科センター遺伝子 )

15:00~

B 1 . イネ胚乳の  $\alpha$ -グルコシダーゼの精製と性質

山崎良樹, 中島進, 今野晴義

( 岡山大・資生研 )

15:12~

B 2 . Analysis of a potato allene oxide synthase selective for linoleic acid 9-hydroperoxide

Darika Kongrit, Mitsuo Jisaka, Kazuhiro Kobayashi<sup>1</sup>, Yutaka Nishigaichi<sup>2</sup>, Kohji Nishimura<sup>3</sup>, Tsutomu Nagaya, Kazushige Yokota

(Dept. Life Sci. Biotechnol., <sup>1</sup>Dept. Agric., <sup>2</sup>Dept. Mat. Sci., <sup>3</sup>Dept. Mol. Funct. Genom., Center Int. Res. Sci, Shimane Univ.)

15:24~

B 3 . 高等植物 GDP-ガラクトースフォスホリラーゼの同定と解析

石川孝博<sup>1</sup>, John Dowdle<sup>2</sup>, Nicholas Smirnoff<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>島根大・生資・生命工, <sup>2</sup>Sch. Biosci. Univ. Exeter)

座長 長屋敦 ( 島根大・生資・生命工 )

15:36~

B 4 . 光回復遺伝子導入による紫外線耐性シロイヌナズナ作出の試み

中根千陽子<sup>1</sup>, 吉原亮平<sup>2</sup>, 福村雄介<sup>1</sup>, 滝本晃一<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>山口大・院・農, <sup>2</sup>鳥取大・院・連農, <sup>3</sup>山口大・農)

15:48~

B 5 . シロイヌナズナにおける COP 小胞輸送系構成因子 (*ATSEC31*, *ATSEC13*) の遺伝子発現及び細胞内局在解析

日野武志<sup>1</sup>, 川向誠<sup>2</sup>, 中川強<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>島根大・総科センター遺伝子, <sup>2</sup>島根大・生物資源)

16:00~

B 6 . シロイヌナズナにおけるジャスモン酸メチル誘導気孔閉口シグナル伝達経路の解析

宗正晋太郎<sup>1</sup>, 小田賢司<sup>2</sup>, 渡邊恵<sup>1</sup>, 中村宜督<sup>1</sup>, 下石靖昭<sup>1</sup>, 村田芳行<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>岡大院自然科学, <sup>2</sup>岡山県生物科学総合研究所)

座長 地阪光生 (島根大・生資・生命工)

16:12~

B 7 . タンパク質品質管理機構における鶏卵白アルブミン(OVA)の糖鎖の重要性

伊藤一成, 瀬利亜紀子, 松富直利

(山口大農・生物機能)

16:24~

B 8 . 鶏卵白アルブミンのタンパク質間相互作用に及ぼす SH 基の役割

中嵩志, 伊藤一成, 松富直利

(山口大・農・生物機能)

16:36~

B 9 . 鶏卵白アルブミン (OVA) の S 化機構の一考察 ~脱アミド化~

石丸隆行, 伊藤一成, 松富直利

(山口大・農・生物機能)

座長 池田泉 (島根大・生資・生命工)

16:48~

B 10 . トチノキ種子 ( 枳の実 ) 由来のサポニン成分の抗肥満作用

小川智史<sup>1,2</sup>, 木村英人<sup>2</sup>, 地阪光生<sup>1,3</sup>, 木村靖夫<sup>1,4</sup>, 勝部拓矢<sup>5</sup>, 横田一成<sup>1,3</sup>

(<sup>1</sup>鳥取大院・連農,<sup>2</sup>寿製菓,<sup>3</sup>島根大・生命工,<sup>4</sup>鳥取大・農,<sup>5</sup>島根県産技センター)

17:00~

B 11 . 徳島県産農産廃棄物に含まれる機能性成分の解明 - レンコンとオモトについて -

門愛子, 河野愛, 山本夏子, 小山保夫, 武田美雄, 増田俊哉

(徳島大・総合科学)

17:12~

B 12 . 未同定菌 *Aspergillus* sp. 属菌 S328 由来の殺線虫物質の探索

大谷晃平<sup>1</sup>, 谷聡子<sup>1</sup>, 藤岡昭三<sup>2</sup>, 河野強<sup>1</sup>, 木村靖夫<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>鳥取大・農・生資環,<sup>2</sup>理研)

17:24~

B 13. Synthesis of competitive and noncompetitive antagonists for insect GABA receptors

Mohammad Sayed Alam, Takeshi Yasaka, Yoshihisa Ozoe

(Dept. Life Sci. Biotechnol., Fac. Life Environ. Sci., Shimane Univ.)